

平成18年度 施策評価表

所属 28200000

教育委員会 スポーツ課

施策	2066 スポーツ事業							
区分								
対象	青少年、高齢者、障害者など区民全般 約43万人（微増傾向）							
施策意図	多様なスポーツの機会を提供し、区民が楽しくスポーツを続けられるようにする。							
現状と課題	人口構造が少子高齢化に向かう社会環境においても、区民の体育・スポーツへの関心度は至って高く、各世代の多様化したスポーツニーズに即したサービス提供は必須である。今後、更に創意・工夫を加え、効果的・効率的に事務事業を執行し、あらゆる世代が生涯を通じてスポーツを楽しめる「生涯スポーツ社会」の実現に努めなければならない。							
成果指標	1：スポーツを楽しんでいる区民の割合（マーケティング調査） 2：区・体育協会主催及び区後援の全スポーツ事業の延べ参加者数 3：区人口比（全事業延べ参加者数／区人口×100）							
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度				
		実績	28.00	28.30				
	成果指標2 [人]	予定	300,000.00	320,000.00				
		実績	288,636.00					
	成果指標3 [%]	予定	69.76	72.72				
		実績	65.60					
	トータルコスト (千円)	予定		126,668				
		実績	185,257					
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。スポーツ振興法に基づき、ひろく区民が自主的かつ積極的に参加できるような事業を実施し、指導者の養成及び資質向上を図っていくことは区の責務である。					
		区民ニーズへの貢献	大きい。多様なスポーツの機会が提供され、青少年から高齢者まで多くの区民がスポーツを楽しんでいる。区民の健康保持・増進を図っている。					
成果向上の必要性		向上必要。健康・体力づくりや生きがいづくりへの区民のニーズは高まっている。						
成果向上の容易性		容易。少子高齢社会の中、各世代や障害者等のニーズに応じた事業実施に創意・工夫し、より身近な場所でスポーツに親しめる環境を整備していくことで効果が向上していく。						
位置付け総合評価	拡充。区民の健康・体力づくりやスポーツに対する需要は多く、子どもから高齢者まで各年齢層における生涯スポーツの充実が求められている。							
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価	
	206613	(仮称)総合型地域スポーツクラブ育成				2,369	6	
	206602	スポーツフェスティバル(公社事業)				19,457	5	
	206603	区民スポーツ大会(公社事業)				18,488	5	
	206604	区民体育大会(公社事業)				16,910	5	
	206605	スポーツ指導員養成(公社事業)				4,623	5	
	206610	文化・スポーツ活動費助成				12,288	5	
	206611	体育協会助成				2,637	5	
	206606	体育指導委員				14,000	4	
	206607	地域スポーツ活動(公社事業)				4,984	4	
206601	スポーツ教室・スポーツコース事業(公社事業)				60,431	0		

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 28200000

施 策 2066

教育委員会 スポーツ課

スポーツ事業

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		105		
		一般財源	(5)		121,109		
	直接費	事業費	(6)		62,432		
	職員人件費	人件費	(7)		58,386		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		7.11		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		7.11		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		5,850		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		5,850			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		126,668			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	25,732			
		一般財源	(24)	151,875			
	直接費	事業費	(25)	104,800			
	職員人件費	人件費	(26)	72,807			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	9.11			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	9.11			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	7,650			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	7,650				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	185,257				

施策名	スポーツ事業
-----	--------

担当課： 生涯スポーツ課

施策の達成状況

【達成度評価】
おおむね達成しているが、平成19年度までに、葛飾区スポーツ振興計画を策定し、葛飾区のスポーツ振興を総合的かつ効率的に推進していく。また、身近な地域で年齢や興味・関心・技術レベルなどに応じて、定期的、継続的にスポーツに親しめる「かつしか地域スポーツクラブ」を育成し、さらなる成果の向上を図っていく。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大	(仮称)総合型地域スポーツクラブ育成	地域スポーツ活動 体育指導委員 スポーツ指導員養成	
	中		健康体力相談 スポーツ情報提供 一般開放	スポーツ教室・スポーツコース事業
	小	区民体育大会 区民スポーツ大会 文化・スポーツ活動助成 体育協会助成		スポーツフェスティバル
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上		体育指導委員	(仮称)総合型地域スポーツクラブ育成
	維持		スポーツフェスティバル 区民スポーツ大会 区民体育大会 文化・スポーツ活動助成 体育協会助成 地域スポーツ活動 スポーツ指導員養成	スポーツ教室
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
指定管理者制度を導入し、民間の能力を活かすことにより、経費の削減を図るとともに、区民ニーズに効果的かつ効率的に対応し、利用者サービスのさらなる向上を図る。また、身近な地域で、区民一人ひとりが年齢や興味・関心・技術レベルなどに応じて、定期的・継続的にスポーツを親しむことのできる地域総合型スポーツクラブの育成を推進する。